

日銀の視点

当地に着任して間もなく、県内の歴史的文化財を訪ねて回ろうと思いついた。茨城県は古くから東国の要所として栄えた場所であり、歴史的価値の高い建造物や美術品、史跡名勝が多く存在している。調べてみると本県には国指定の重要文化財が129点ある。その後1年半ほどかけて全てを巡り目標を達成した。訪ねた中には偕楽園のある常磐公園や弘道館、鹿島神宮、袋田の滝といった県下有数の

吉田 豊

日本銀行
本支店長
水戸事務所

県内の文化財巡り達成

観光地として人でにぎわう文化財もあり、多くは里山にひっそりとたたずみ、長い歴史を紡いできた文化財である。できるだけ公共交通機関を利用し各地のレンタサイクルを活用して訪ねたが、全体の3

イクル施設もなかなか使えるではないか、と実感した。訪ねた先で地元の方に温かく接していただいたことも良い思い出となった。江戸時代中期に建てられた茅葺き屋根の古民家を訪ねた時には、突

お話するのは楽しみです」と語っておられた。こうした心遣いに頭が下がる思いであった。また、現在は畑となつてゐる古代郡衙(役所)跡の史跡を訪ねた時のこと、説明看板を読んでいると近くで畑仕

感銘を受けた。建造物や史跡は現地を訪ねれば見ることができると、彫刻や絵画など美術品の多くは所蔵する神社や寺院などで厳重に管理されており、突然訪ねても実物を見ることは難しい。所蔵している神社・寺院を参拝して文化財の説明看板を確認することで良しとした。こうして訪れた神社・寺院は約50カ所。参拝の時に本県経済の発展を祈願していただければ職責に合うのだが、実際には離れて暮らす家族の健康とワンオペ育児に日々奮闘する妻への感謝の思いを念じていた。(第2土曜日掲載)

分の1に当たる42点についてはそれがかなわず、最寄り駅からレンタカーを走らせることとなった。しかし80点以上の文化財は車に頼ることなく訪ねることができたので、本県の公共交通機関とレンタサ

然の訪問にもかかわらず当家のご主人が作業の手を止め、文化財である母屋に招き入れていただいた。ご主人は今もこの母屋を生活の場としていて「何かと不自由や苦勞もあるが、訪ねてきてくれる人と

りをしていると話すと、史跡の成り立ちや発掘調査の経緯、近くに点在する関連史跡の紹介など、学芸員さんながら説明していただいた。文化財が地域の人によって支えられ今に伝えられていることに

た。